



1月13日朝 プール更衣室の屋根も真っ白→

## 大阪でも1月14日から緊急事態宣言期間に

関東4都県が対象だった緊急事態宣言が、14日から大阪府を含む7府県にも拡大されました。

前回の緊急事態宣言時に比べ、豊中の小中学校においても感染したり、濃厚接触者としてPCR検査を受けたりする人の数は増加傾向にあります。いわゆる「ウイズ コロナ…コロナとの共存」を実感する状況です。そのような中、新型コロナウイルスへの感染を完全に止めることはできないまでも、感染リスクを減らすことはみなさんの力でできることです。自分を守る、友だちを守るためにも、改めて意識をして一緒に取り組んでいきましょう。



◎ **朝の検温**：家での検温が原則です。忘れた場合は学校で検温しますが、**検温が遅くなるほど人との接触が増えてしまいます**。たとえ熱がなくても、風邪症状など体調が悪い時は、**大事をとって休んでください**。(出席停止扱い)

◎ **マスクの着用**

◎ **教室に入るたびに石けんで手洗いを**：忘れないようお互い声をかけあって取り組みましょう。

◎ **密を避けることを意識しよう**：友だちに不必要に近づいたり、向き合って大声で話をしたりするのは控えましょう。

※ **家族に体調が悪い人がいたり、PCR検査を受ける人がいたりしたら、自分が元気でも学校を休んでください**。家以外で体調が悪い人と接触した場合も同様です。(出席停止扱い)

学校においても、緊急事態宣言中は次のような対応をとります。

- ・授業中に感染リスクが高い教科活動は行いません。(長時間対面しての話し合い、音楽のリコーダーの一斉練習など)
- ・授業中今までは途中で5分間程度換気をしていましたが、当分常時換気を行います。寒い時は防寒着を着用して授業を受けてください。
- ・土日祝のクラブ活動や平日の活動延長は行いません。
- ・PTAからも水曜日の消毒活動に加え、非接触型体温計を購入していただいたり、教室に置く加湿器の購入を検討していただいたりしています。



1月13日朝 凍った中庭の池

## 保護者のみなさまへ

保護者のみなさまに関わる学校での説明会や、3学期終了日の変更をお伝えします。

○ **小6保護者対象入学説明会 (1/21)**

中止します。後日資料を小学校を通じてお届けします。資料をご確認いただき、入学に向けての準備をお願いします。

○ **1、2年保護者対象進路説明会・1年保護者対象宿泊行事説明会 (2/1)**

実施します。ご参加いただける方には、感染対策のための「参加票」のご記入をお願いします。

○ **1、2年生の3学期修了式が3月26日(金)に変更されました**。(授業時間確保のため)

## 世の中で起きている出来事や差別について学ぶ大切さ

1月11日に東京国立競技場で行われた第57回ラグビー大学選手権で天理大学が早稲田大学を破り初優勝を遂げました。

関西勢では1984年の同志社大学以来の優勝ということで、普段ラグビーを見ない私も、優勝が決まる瞬間はしっかりとテレビ観戦をしていました。天理大学松岡キャプテンの優勝インタビュー「本当にこの一年いろいろありましたが、部員全員が本当に我慢して、いろんなサポートがあって、ここまで乗り越えられたと思っています。」という言葉に込められた思い。その重さが伝わってきました。

天理大学ラグビー部は、昨年8月に部員62名が新型コロナウイルス感染という感染者集団に見舞われました。ラグビー部に対する心ない誹謗中傷や、部員ではない天理大生が教育実習やアルバイトを断られるという差別事象が広がりました。差別により傷つけられ、心が折れそうになっていた部員たちを支えたのは、天理市、大学関係者のサポートや、多くの人たちからの励ましのメッセージだったと言います。

2学期末の12月23日、十八中の3年生は豊中市立とよなか国際交流センター職員のAさんを招いて、「部落差別」についてのお話を聴きました。Aさんは、今世の中で起きている出来事や差別について学ぶことの大切さについて、次のようにおっしゃっていました。「差別について何も学んでいなければ、知らないうちに(うかつに悪意なく)人を差別して傷つけてしまうことがある。差別について学び続けることは、自分が差別を受けたとき、あるいは差別の場に居合わせたときに、自分がどのような態度をとるのか、ということにもものすごく影響するのです。」

昨年「コロナ差別」という言葉が生まれました。誹謗中傷、すなわち「コロナ差別」をする人たちも、おそらく普段は特に差別的な人ではなく、そのほとんどが温かい人たちだと思います。しかし、差別につながりそうな何か起きたときに、人としてどのような態度をとるのか。それが3年生がAさんから学んだ「世の中で起きている出来事や差別について学ぶことの大切さ」なのだと思ひ起こされた、天理大学の優勝インタビューでした。

